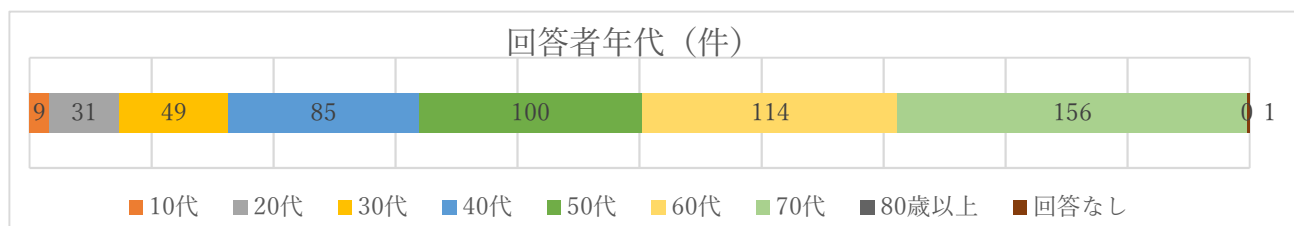


★アンケート結果

アンケート回収 545件 回収率 36.3% 発送件数1,500件

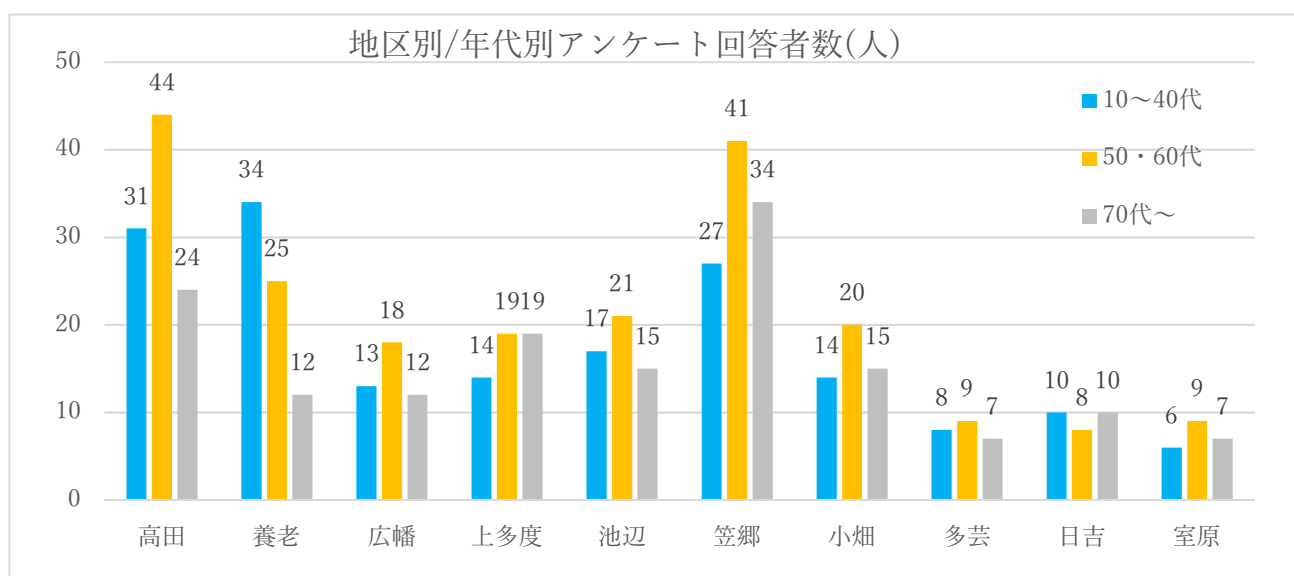
(内訳)郵送 335件(61.5%)、オンライン 210件(38.5%)

※前回(R1年5月)よりインターネットによる回答が2倍となりました。(19.8→38.5%)

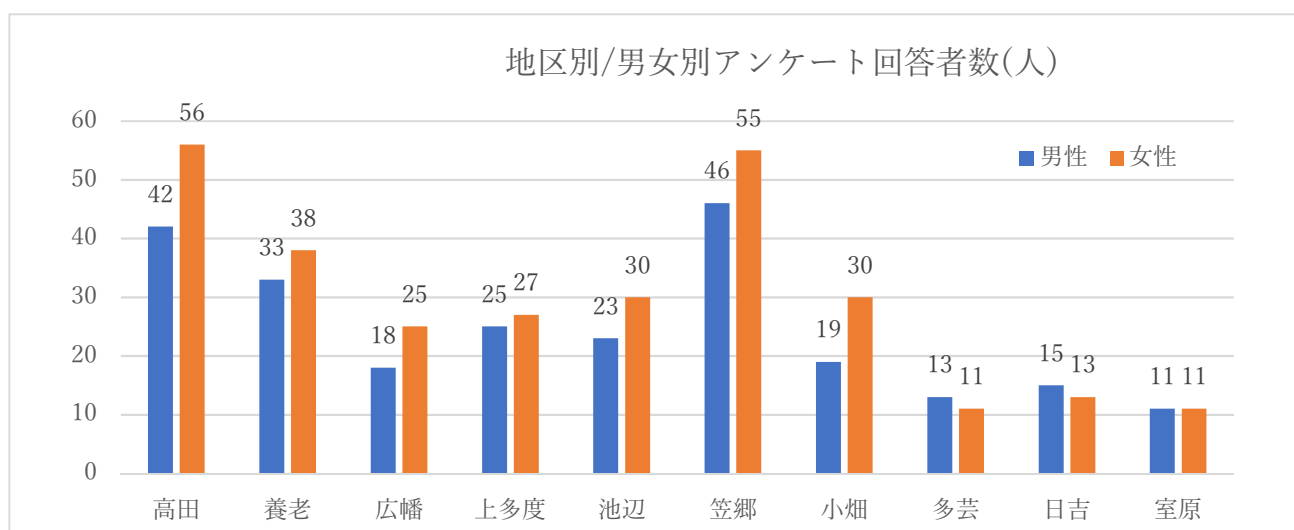


＜アンケート回答者の内訳＞

地区/年代別回答者数(未回答2件)

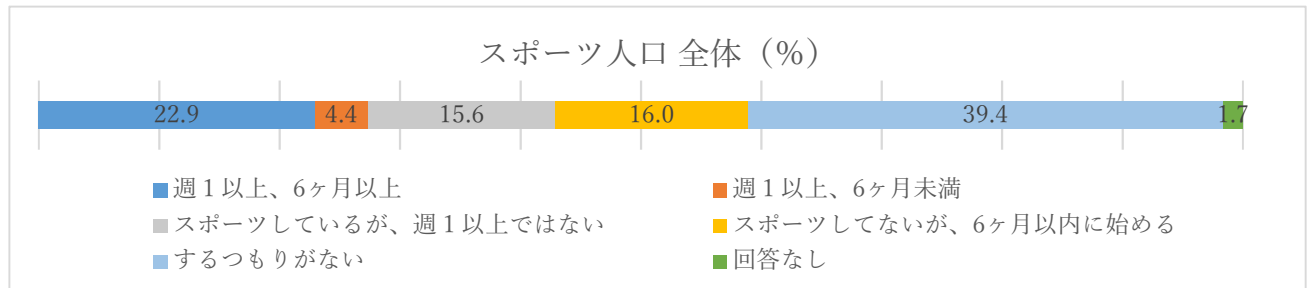


地区/男女別回答者数(未回答4件)



＜前回アンケートとの比較設問＞

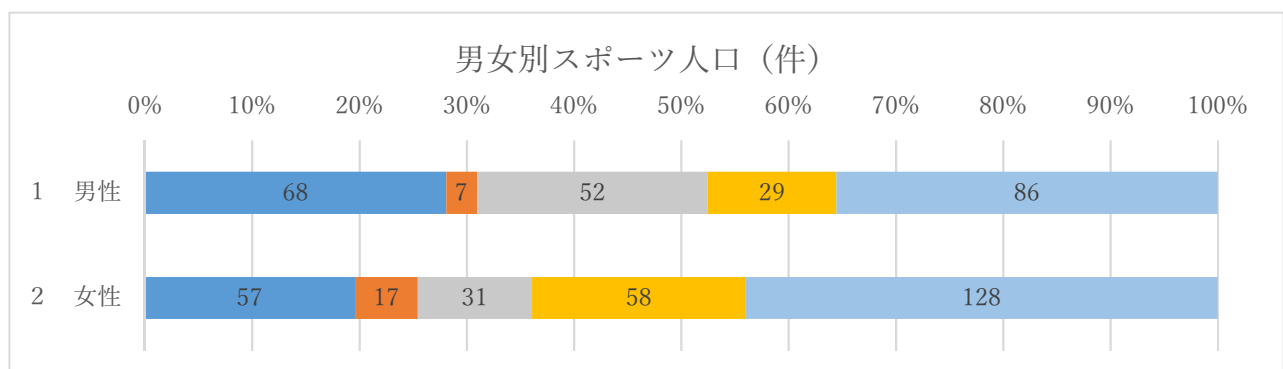
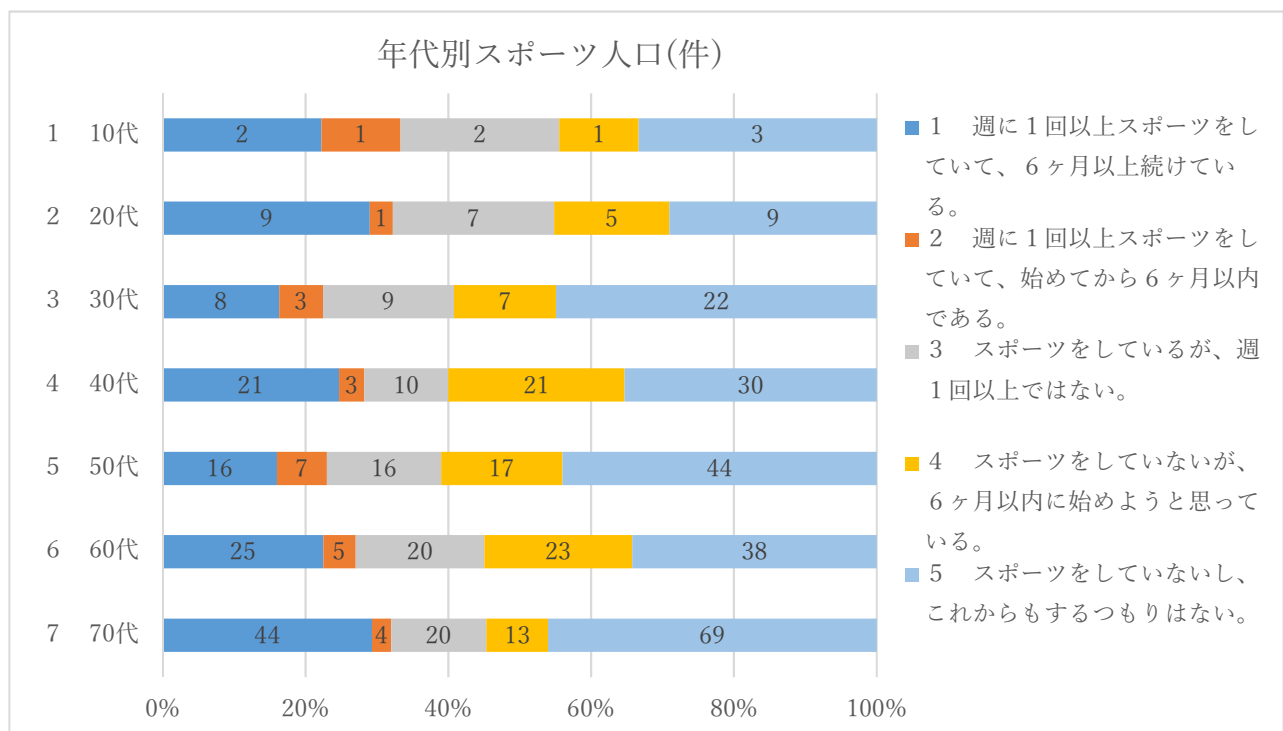
◇スポーツ人口(問2) 回答件数 545 件

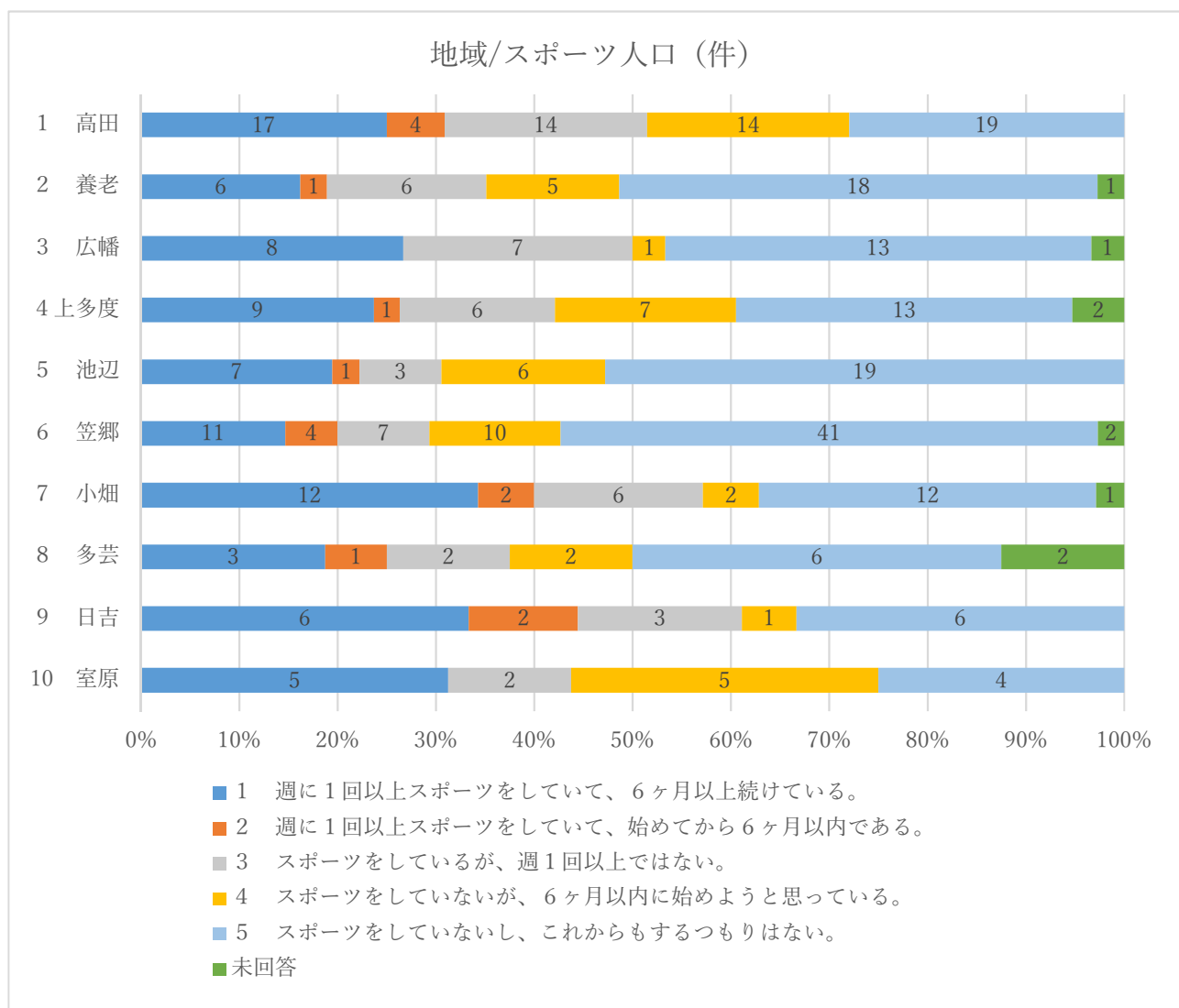


週1回以上スポーツをしている人の割合は 27.3%、週1回以上ではないがスポーツをしている人の合計は、42.9%になります。

前回(R1年度)調査の結果は 28.8%と 44.3%でしたので、わずかに下がっています。

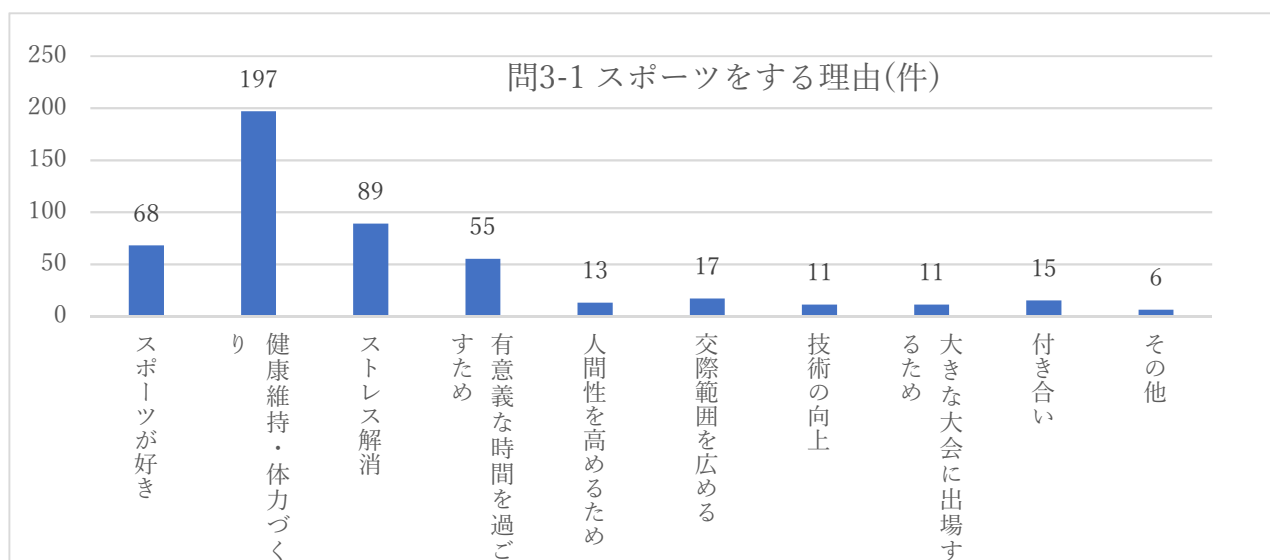
これからもするつもりがないと答えた人は 39.4%(前回 39%)とほぼ変わらず、一方で6か月以内に始めようと思っている人は 16%(前回 13.4%)と増えており、コロナ禍でスポーツする習慣を控えていた影響があったかと思われます。





◇スポーツを行う理由(問3-1) 複数回答 482 件（回答者数233人/545人）

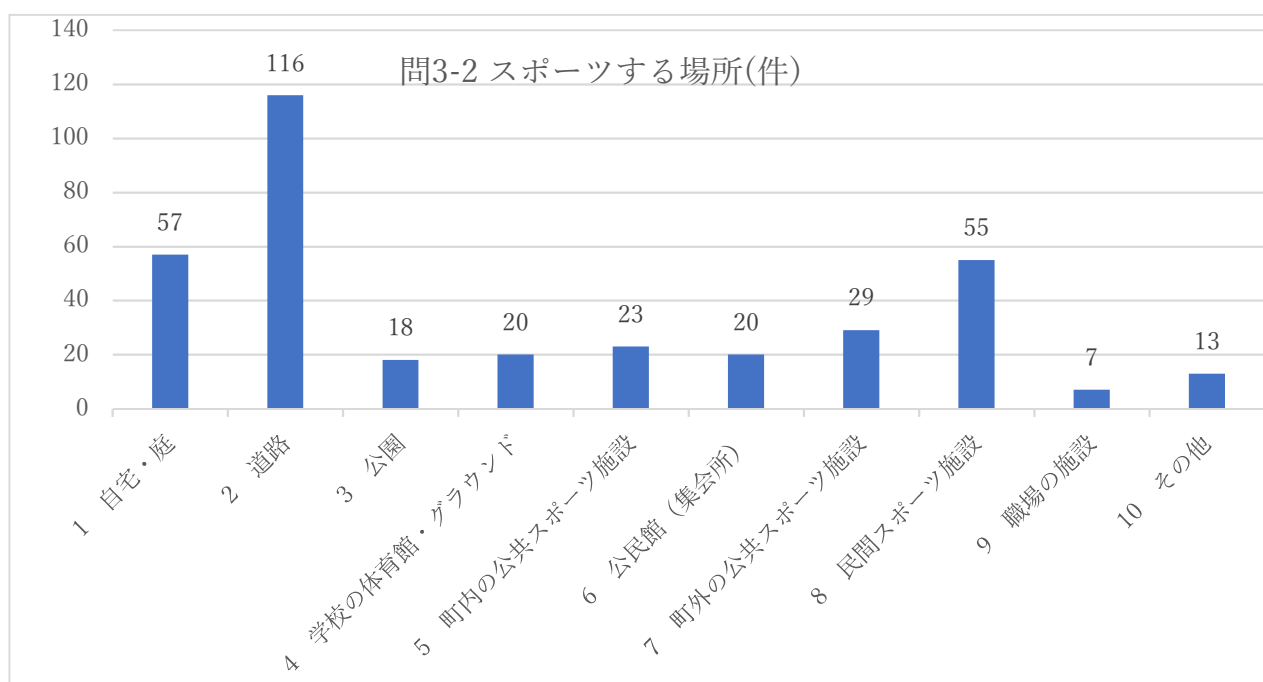
※問2で1～3と回答した人＝234人による回答(内1人は回答なし)。(※割合は回答者数 234 人で計算)



スポーツを行う理由として 84.2%の方が「健康維持・体力づくり」と回答しており、2番目の理由が「ストレス解消」(38.0%)と前回アンケート(前回 86.4%と 37.9%)とほぼ同様の回答となりました。

◇ふだんスポーツをする場所(問3-2) 複数回答 358 件 (回答者数234人/545人)

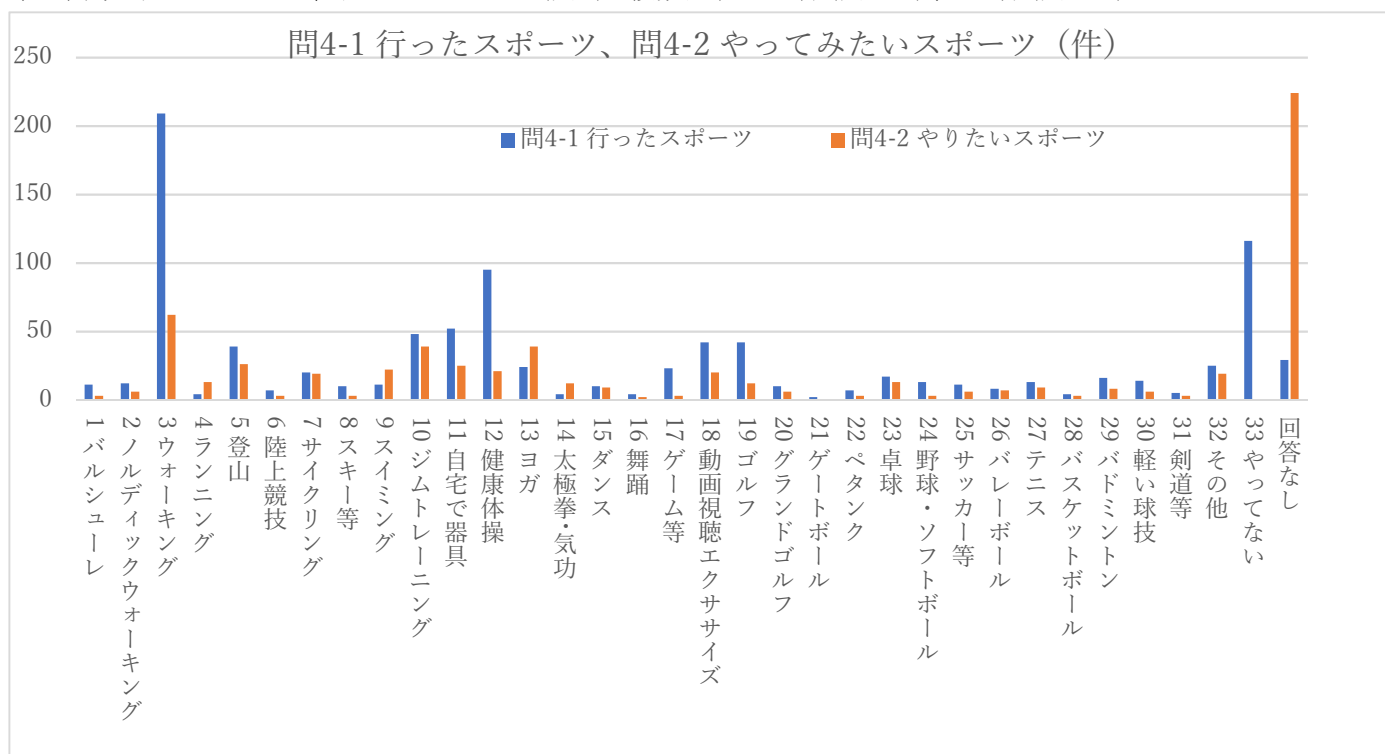
※問2で1～3と回答した人＝234人による回答



スポーツを行う人のうちスポーツを行う場所として多かったのは、「道路」(49.6%、前回 28.6%)、「自宅・庭」(24.4%、前回 17.5%)で、上位2つの項目は前回と同じでしたが、割合としてはそれぞれ増加しており、ウォーキングや自宅での体操など一人でできるスポーツが増えた影響と思われます。(問4-1 参照)

3番目に多かったのは「民間スポーツ施設」(23.5%)ですが、前は「町内のスポーツ施設」(13.5%)でした。町民プールの閉館や、民間のスポーツジムが増えた影響により、民間のスポーツ施設に行く人が増えたからと思われる。

◇1年間に行ったスポーツ/始めたいスポーツ(問4) 複数回答 957 件(問4-1)、649 件(問4-2)



<問 4-1 行ったスポーツ上位3項目>

①ウォーキング 209 件 38.3%、②やっていない 116 件 21.3%、③健康体操 95 件 17.4%、
④動画視聴エクササイズ、ゴルフ 42 件 7.7%

(前回アンケート)

①ウォーキング 159 件 28.0%、②ジムトレーニング 63 件 11.1%、③健康体操 57 件 10.1%

※前回アンケートには「やっていない」項目はなし。

<問 4-2 やってみたいスポーツ上位3項目>

①ウォーキング 62 件 11.4%、②ジムトレーニング、ヨガ 39 件 7.2%

(前回アンケート)

①ヨガ 27 件 12.9%、②ウォーキング・ジムトレーニング 24 件 11.4%

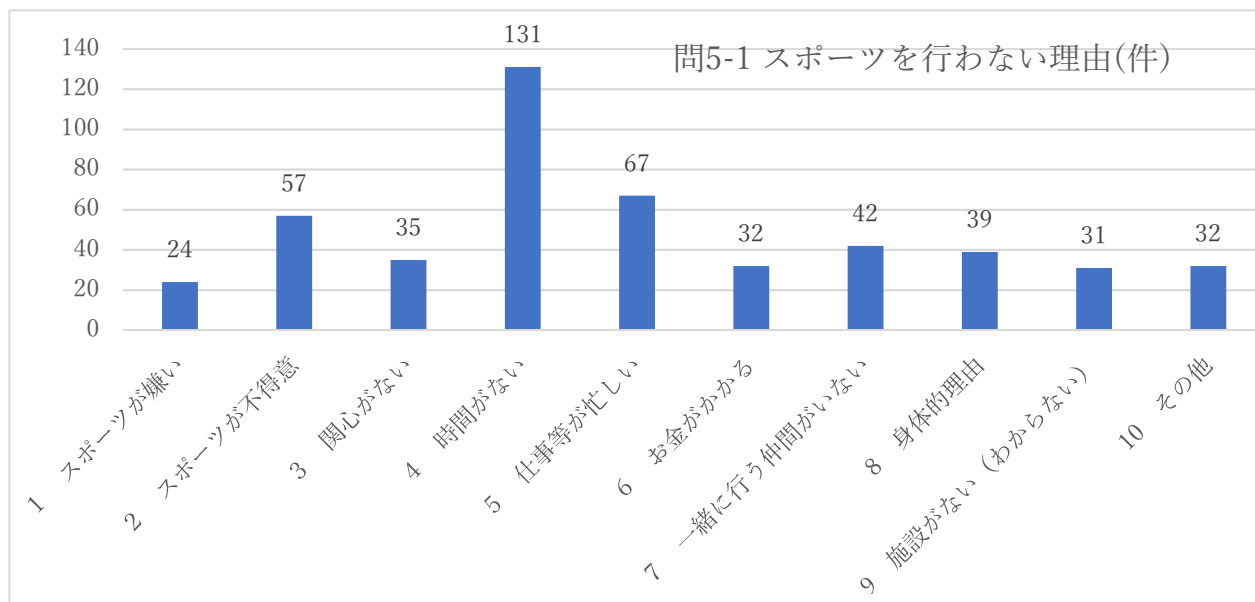
今回のアンケートには「スポーツをやっていない」選択肢を入れたため、スポーツをやっていない人(問2で5と回答した人)の意見が反映されたと思われます。前回アンケートと同じくウォーキングが高い割合を占めており、次いで健康体操が多いという結果でした。

やってみたいスポーツに関しては、上位3項目は前回と変更ありませんが、前回1位だったヨガを抜いてウォーキングが1位となりました。

◇スポーツを行わない理由(問5) 複数回答 490 件 (回答者数292人/545人)

※問2で 4, 5 と回答した人=302人による回答 (内10人は回答なし)。

※割合は回答者数 292 人で計算



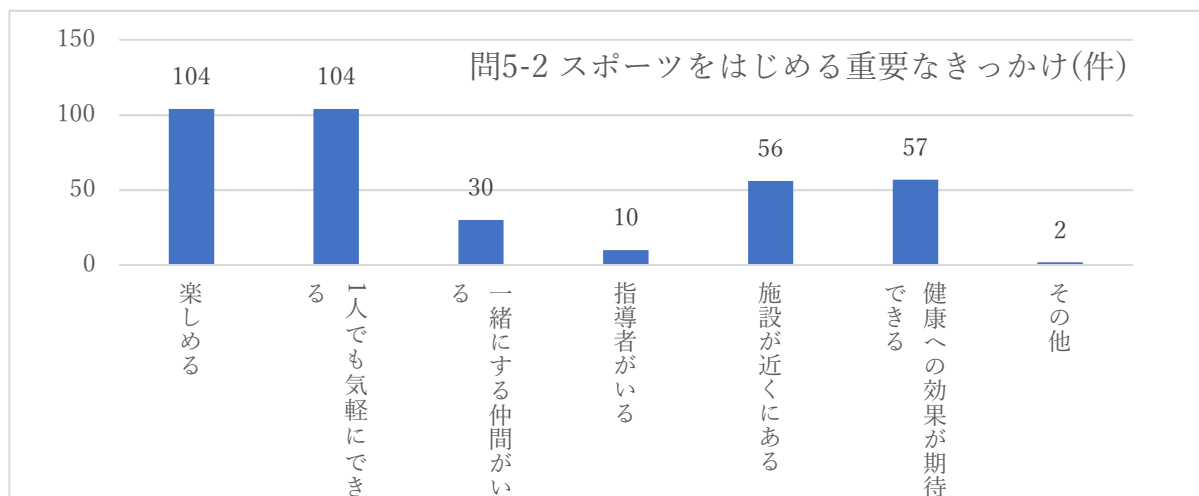
スポーツを行わない理由の多くが前回と同じ「時間がない」(44.8%) (前回50%)で、次いで「仕事・育児・介護等が忙しい」(22.9%)となっています。

前回2・3番目に多かった「スポーツが不得意」(前回 24.8%)「一緒に行く仲間がいない」(前回 18%)は今回 57 件 19.5%と 42 件 14.4%と割合を下げています。

◇スポーツを始める重要なきっかけ(問5-2) 2つまで回答 363 件(回答者数269人/545人)

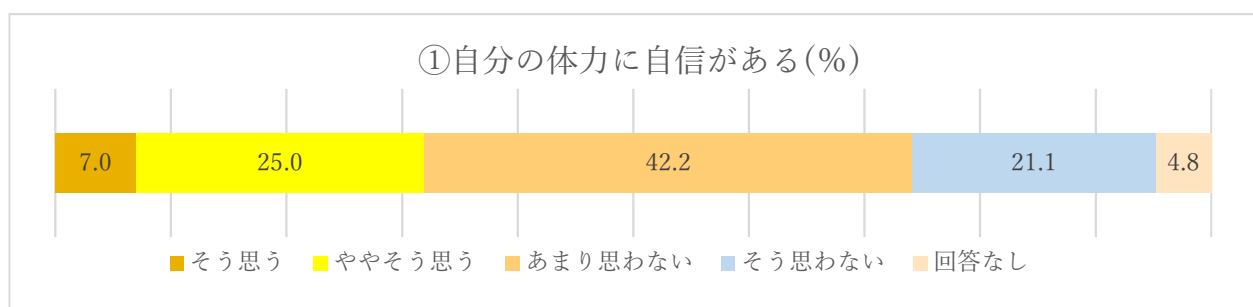
※問2で 4, 5 と回答した人=302人による回答 (内33人は回答なし)。

※割合は回答者数 269 人で計算



多かったのは「楽しめること」「1 人でも気軽にできること」が同数で 104 件 38.6%、前回のアンケートで最も多かったのは「1人でも気軽にできること」(39.5%)に近い割合です。前回2番目に多かったのは「健康への効果が期待できること」(26.8%)で、今回は 21.2%と3番目に多いという結果でした。

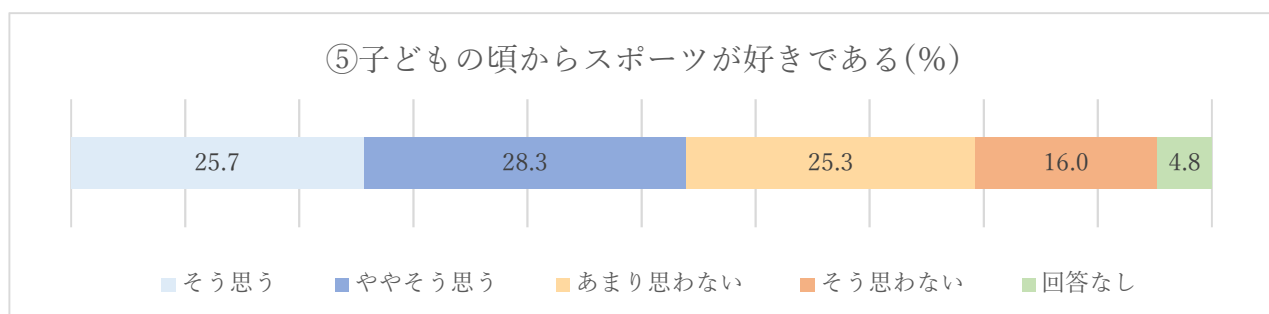
◇体力への自信(あなたの意識)(問6-①) 回答者数545人



自分の体力に自信があるかという設問で「そう思う」「ややそう思う」と答えた人は合わせて 32.0%で、「あまり思わない」「そう思わない」と回答した人(合計 63.3%)の約半分という結果でした。

前回のアンケートでも 31.6%と 65.0%でしたので、町民の自分の体力への自信度はあまり変化が見られないようです。

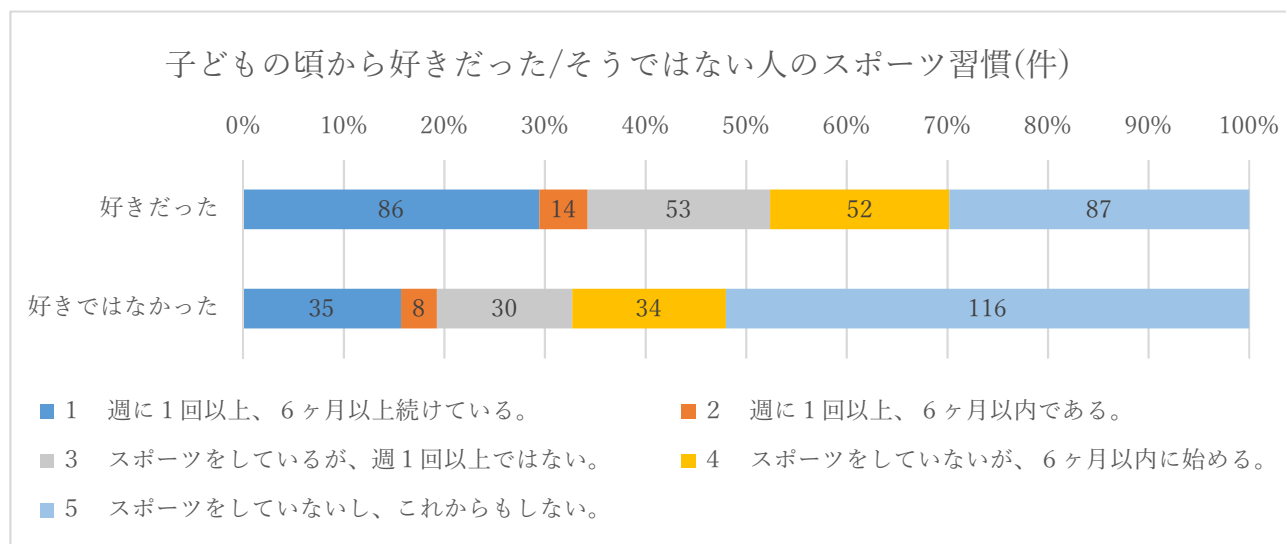
◇子どもの頃からスポーツが好きだったか(あなたの意識)(問6-⑤) 回答者数545人



子どもの頃からスポーツが好きだった人は「そう思う」「ややそう思う」で **54%**と半数強が好きだと回答しており、「あまりそう思わない」「そう思わない」人の **41.3%**を上回っています。

これは、前回のアンケートでも **52.9%**と **43.3%**でしたので、割合的にはさほど変わっていないようです。

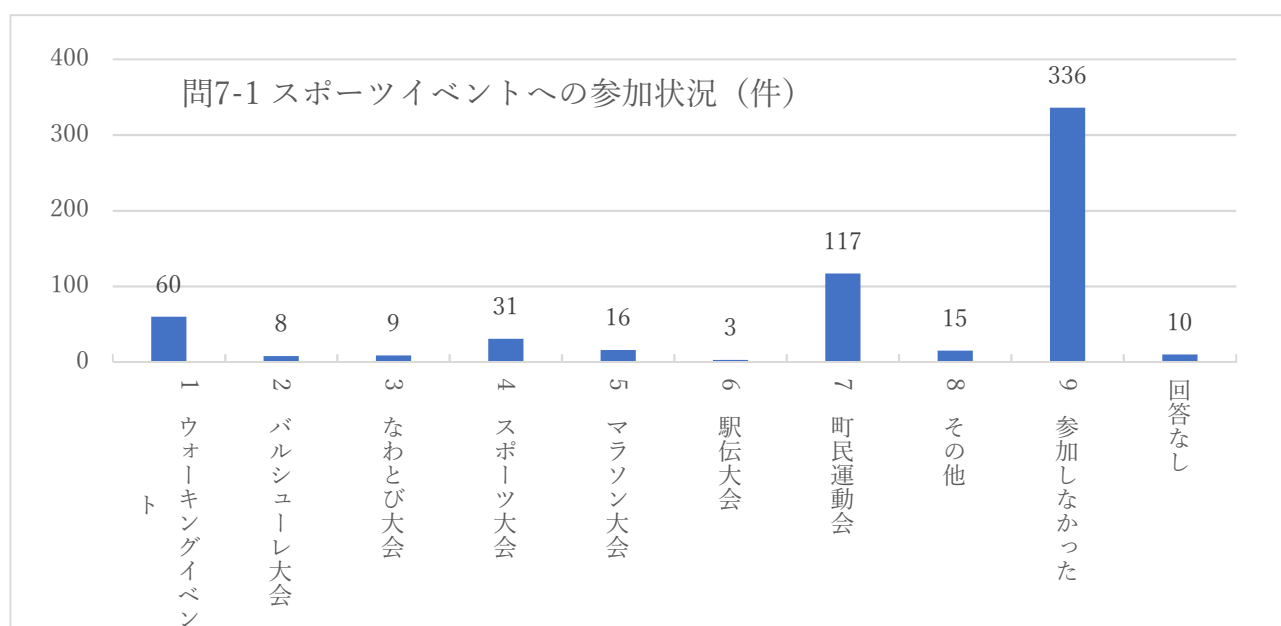
上記の回答者(515人)による現在の現在のスポーツ習慣は以下の通り。



子どもの頃からスポーツが好きだった(「そう思う」「ややそう思う」と回答している人は、現在でも週に1回以上スポーツをする人が多く、反対に子どもの頃あまりスポーツが好きではなかった(「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答している人は、「スポーツをしていないし、これからもしない」と回答した割合が多いようです。

子どもの頃のスポーツへの関心が、大人になってからのスポーツ習慣と関係が深いと思われます。

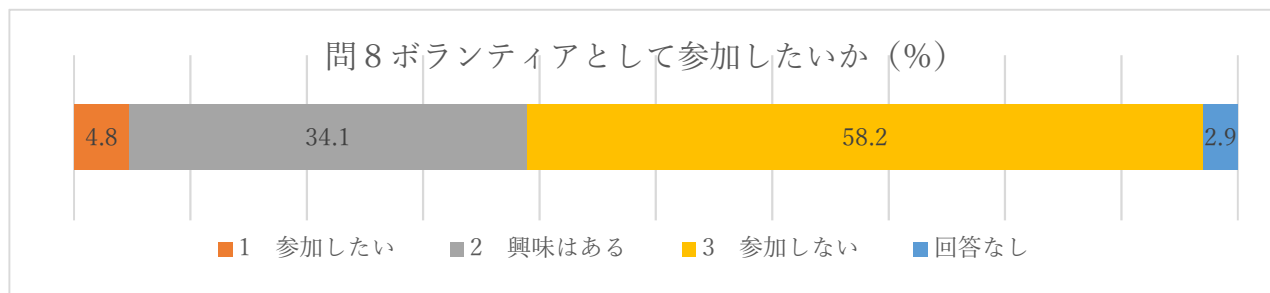
◇スポーツイベントへの参加状況(問7) 複数回答 605 件(回答なし含む)



「参加しなかった」が最も高い(**61.6%**)回答ですが、前回の **73.4%**に対しては減少しています。(ただし、前回のアンケートでは選択項目が参加したか、しないかの2択でした)

参加者が多かったスポーツイベントは「町民運動会」で **117 件 21.5%**の人が参加しています。

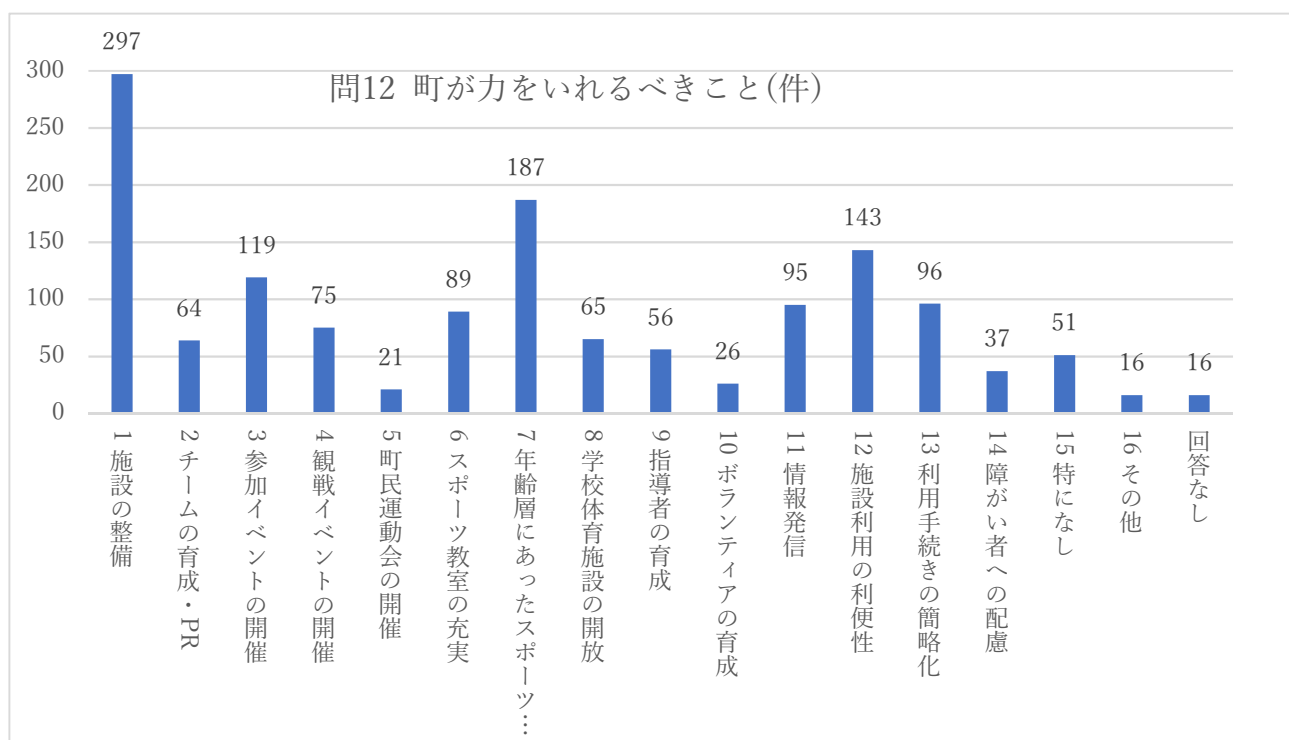
◇運営ボランティアとしてスポーツイベントに参加したいか(問8) 回答者数545人



「参加しない」が 58.2% (317 件)と最も多い結果で、前回の 21.7%と比べて参加しないと回答した人が増えています。次いで多かったのは「参加しないが興味はある」人で 34.1% (186 件)でした。これは前回 57.8%と最も多かった回答で、1位と2位が入れ替わったことになります。

「参加したい」と回答した人は前回 16.6%から今回 4.8%と減少していました。

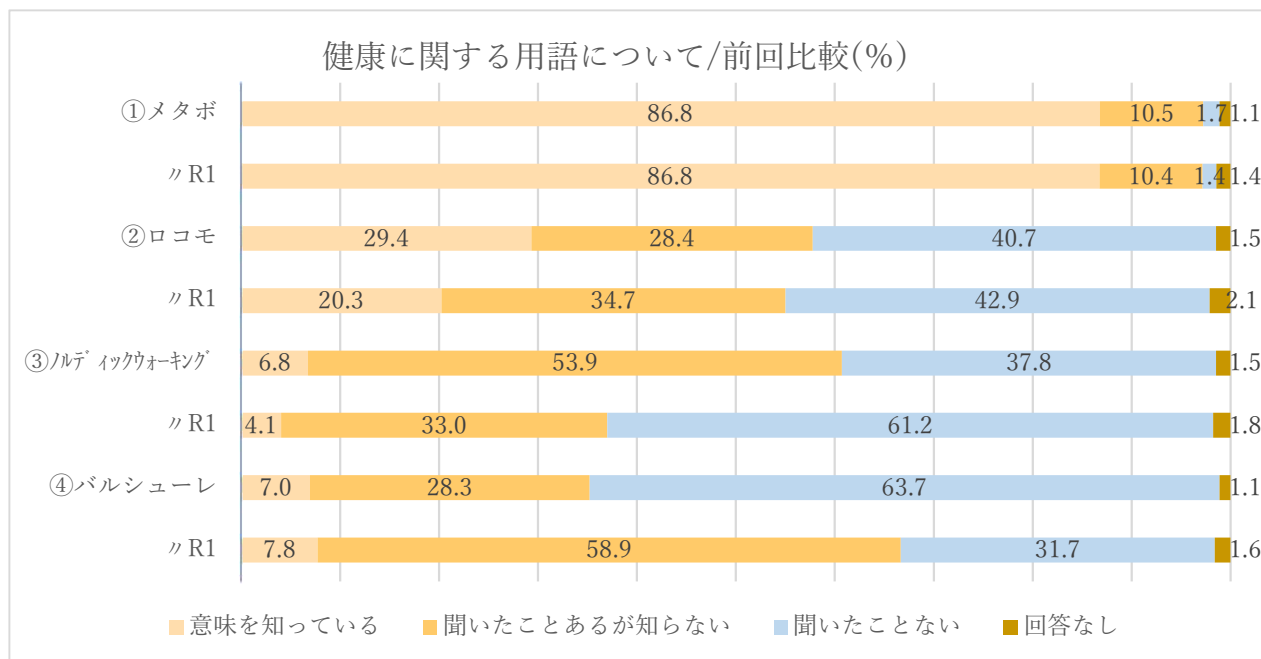
◇スポーツ推進のために町が力を入れるべきこと(問12) 複数回答 1,453 件(回答者数529人/545人)



最も多かったのが「施設の整備」で 54.5% (前回 43%)、2番目は「年齢層にあったスポーツの開発・普及」で 34.3% (前回 47.3%)、3番目が「施設利用の利便性の向上」で 26.2% (前回 30.5%) でした。

上位3つは前回と同じ項目ではあるが、1位と2位が逆転しており、また「施設の整備」への回答割合が増えています。

◇健康に関する用語について(問15) 回答者数545人



健康に関する用語について、「①メタボ」は変化がほとんどないが、知っている人が **97%以上** となっており、ほとんどの人に認知されていると言っても良い結果でした。

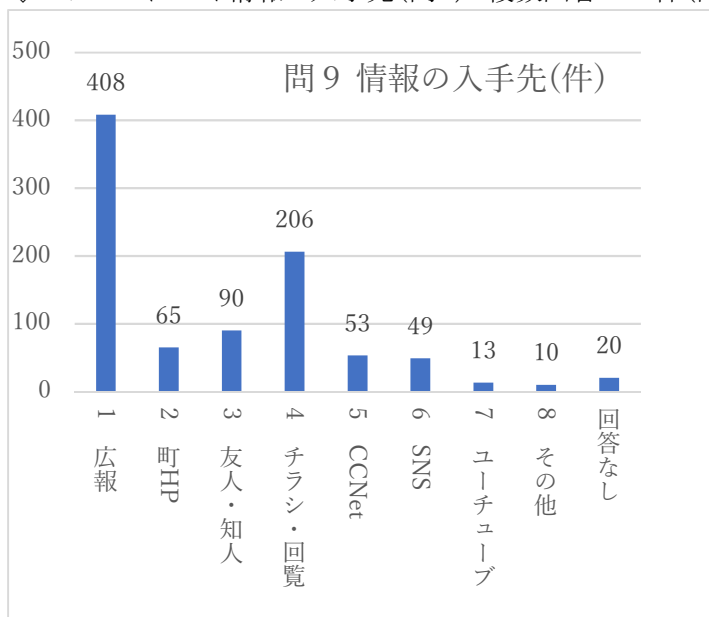
「②ロコモ」は前回 **55.0%** から **57.8%** に微増しているが、意味を知っている人の割合が増えており、健康について関心を持った人が増えたとみることができます。

「③ノルディックウォーキング」を知っている人は前回 **37.1%** から今回 **60.7%** と増加しており、ノルディックウォーキングの認知が広がったようです。

一方、「④バルシューレ」を知っている人は前回 **66.7%** から今回 **35.3%** と減少しています。こちらは、コロナ禍において、教室や大会等バルシューレの推進ができなかったことから、聞いた事のある人が減少したためと思われます。

<今回のアンケートからの新しい質問>

◇スポーツイベント情報の入手先(問9) 複数回答 914 件(回答者数 545 人)



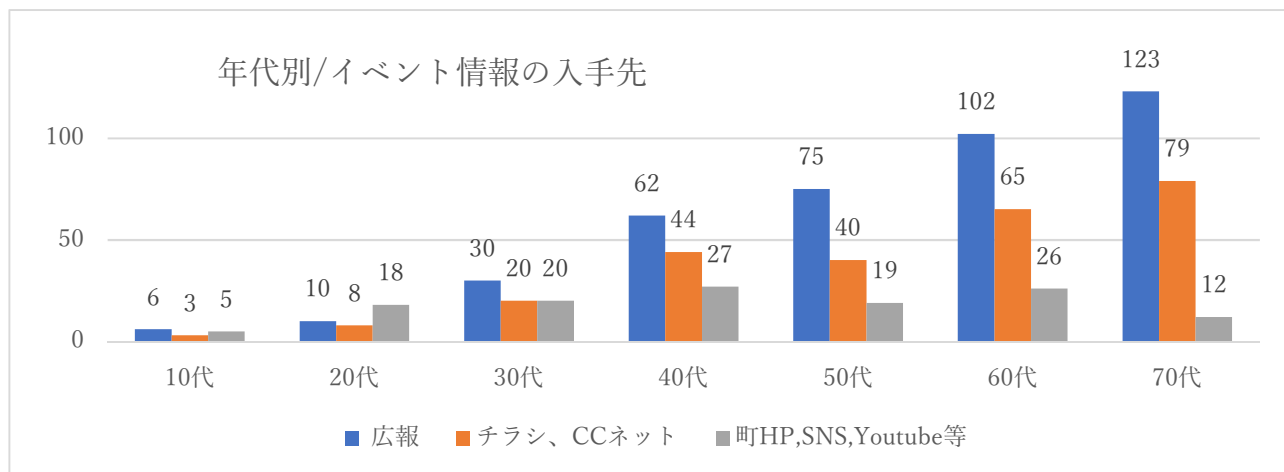
イベントの情報入手先は、「広報養老」が最も多く(**74.9%**)、次いで「チラシ・回覧」(**37.8%**)となっています。

その他の意見では、新聞や、老人クラブから、学校で配られるパンフレットなど、団体を通じて情報入手を希望する人もありました。

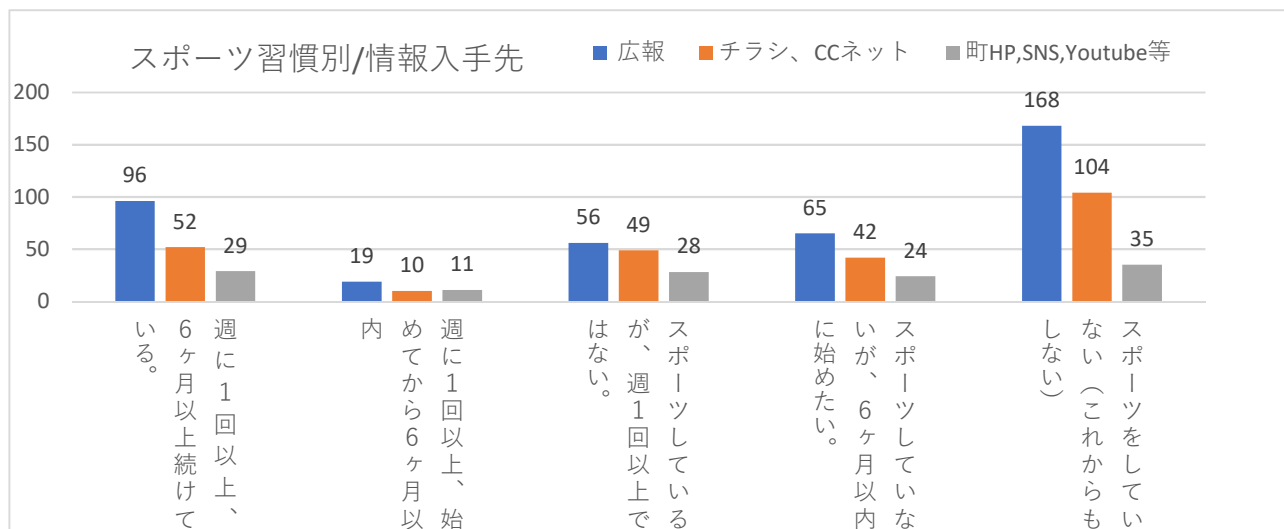
町HPやSNSなどの順位が低いですが、これはアンケート回答者の年代が **60 代以上** で約半数(**49.5%**)であったことも関係すると思われます。

一方で知らなかったとの回答もあり、町民がアクセスしやすい情報発信を考える必要があります。

年代ごとのイベント情報入手先

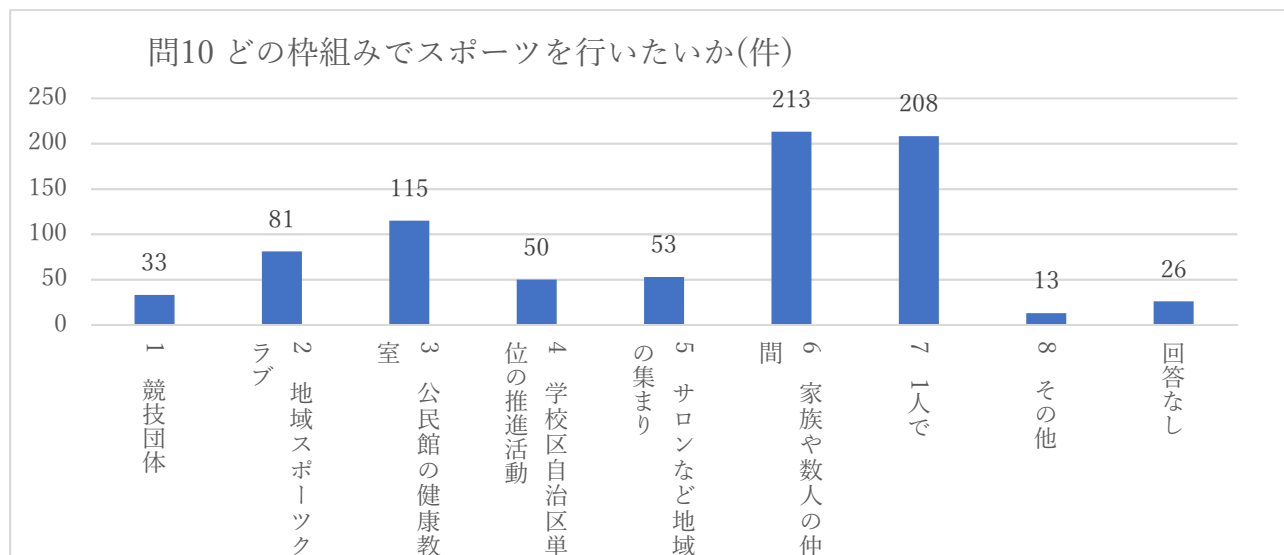


スポーツ習慣群ごとのイベント情報の入手先



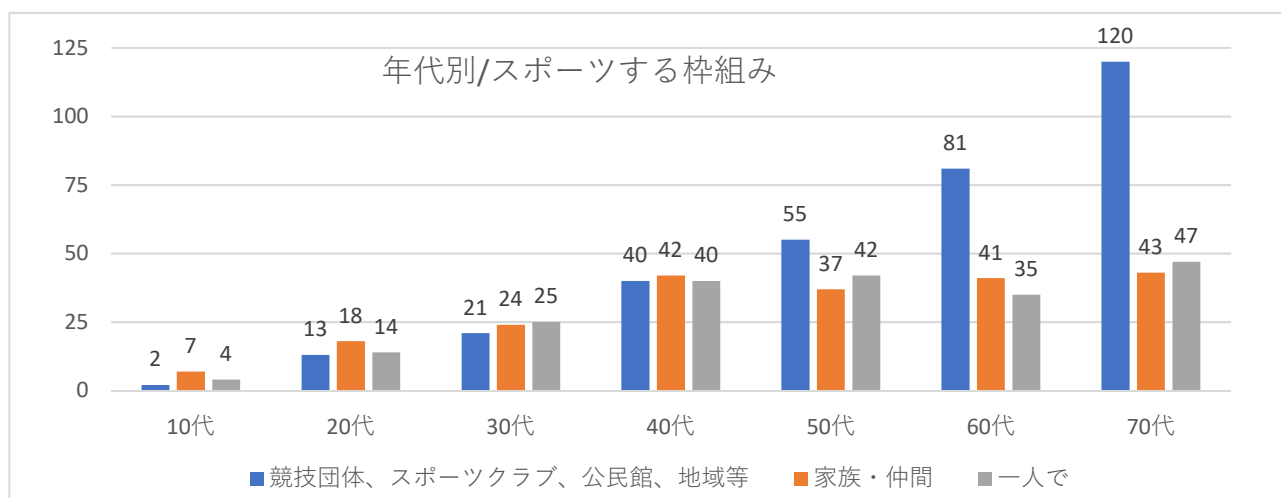
◇スポーツをする枠組み(問10) 複数回答 792 件(回答者数 545 人)

※割合は回答者数 545 人で計算

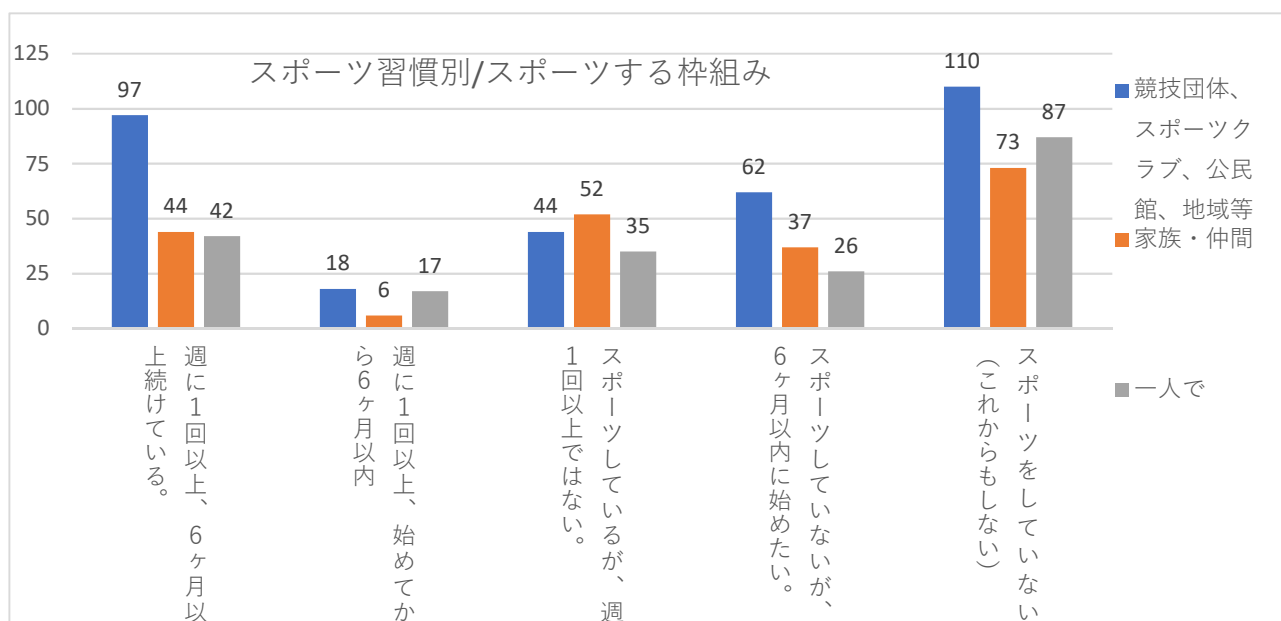


最も多い回答は「家族や数人の仲間で」(39.1%)、次いで「一人で」(38.2%)となっており、8割弱の人が一人もしくは少人数でスポーツを行うことを希望しているようです。

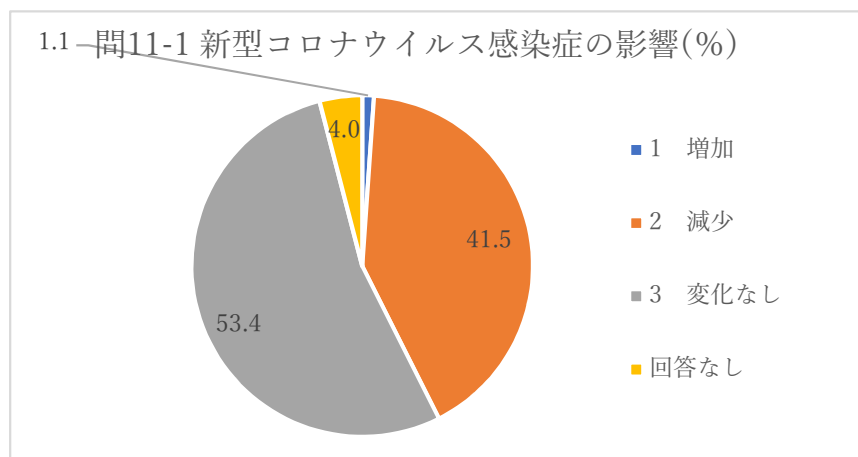
年代ごとのスポーツを行いたい枠組み



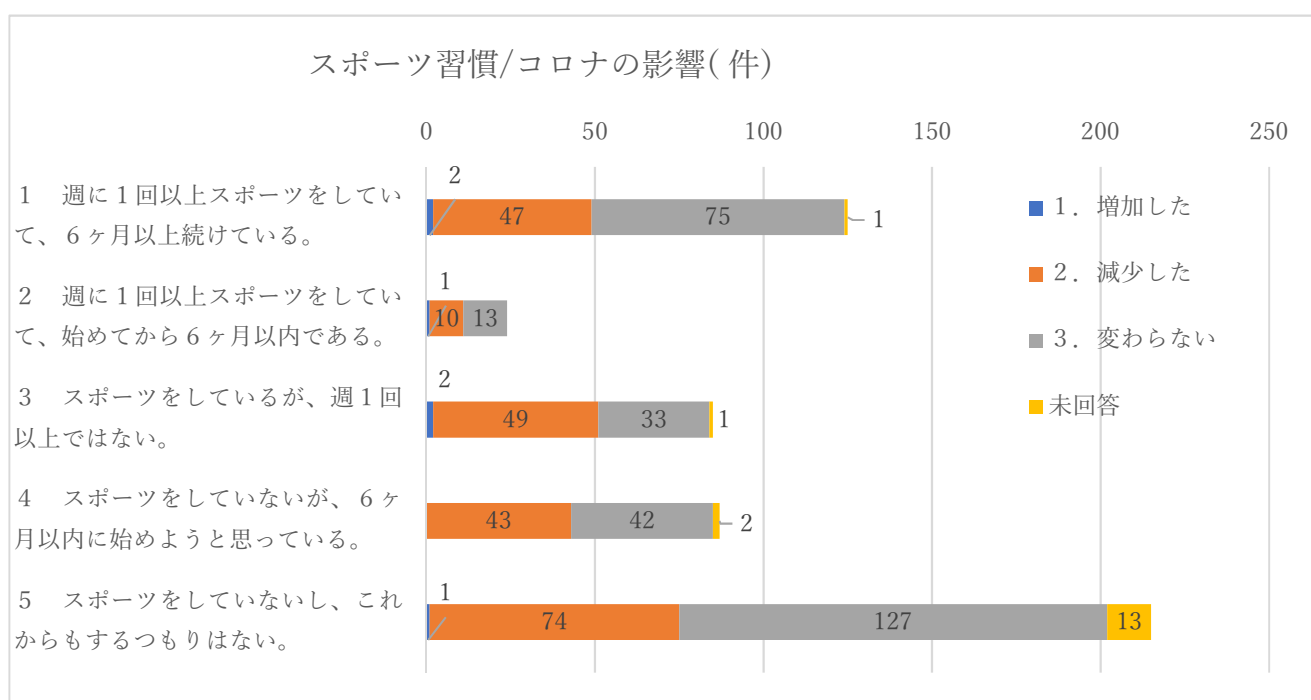
スポーツ習慣群ごとのスポーツを行いたい枠組み



◇新型コロナウイルス感染症の影響でスポーツする機会はどうなったか(問11)



新型コロナウイルス感染症の影響によってスポーツをする機会が「減少した」と回答した人は41.5%(226件)であるが、53.4%(291件)の人は「変化なし」と回答している。

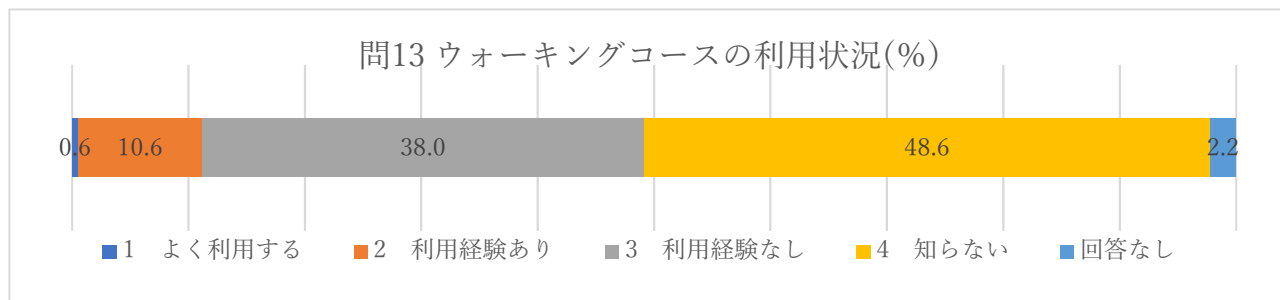


「1 週1回以上スポーツする(6ヶ月以上続けている)」人と、「5 スポーツをしていない。今後もするつもりはない」人の群では、新型コロナウイルス感染症によるスポーツ習慣の変化はないと回答した人が最も多い。

一方、「3 スポーツをしているが週1回以上ではない」「4 6ヶ月以内に始めようと思っている」人たちの間では、コロナによる影響で減少したと回答している人の割合が変わらないと回答した人よりも多い。

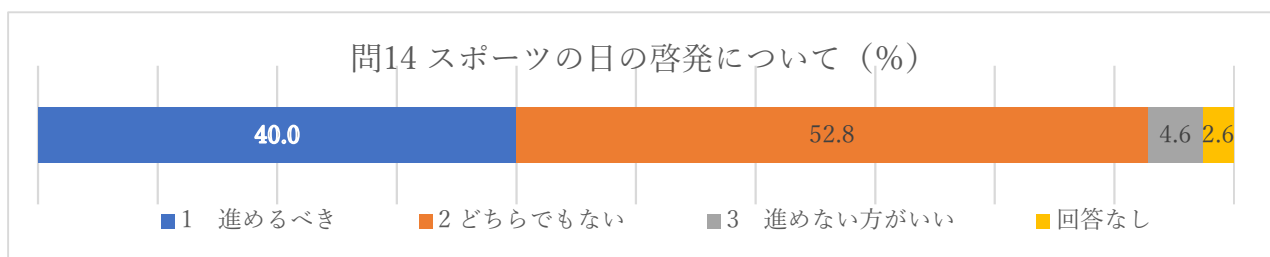
このことから、日常的にスポーツを行う(あるいは行わない)ことが習慣化されている人は、コロナ禍においても多少の影響を受けてスポーツをする機会が減少したものの、基本的に変化は少なく、他方で、日常的にスポーツを行う習慣のない人たちがより多くコロナによってスポーツをする機会が失われたと考えられる。

◇ウォーキングコースの利用状況(問13) 回答者数545人



ウォーキングコースを利用したことがある人は 11.2% (61 件)と少なく、利用したことのない人が 86.6% (472 件 4)と大多数であった。約半数がウォーキングコースを知らないため、周知する必要がある。

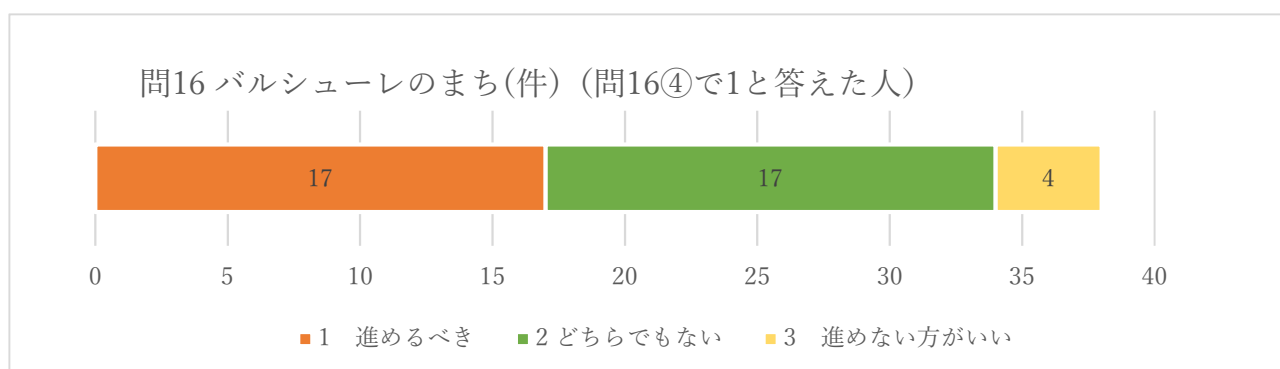
◇スポーツに取り組む日の啓発(問14) 回答者数545人



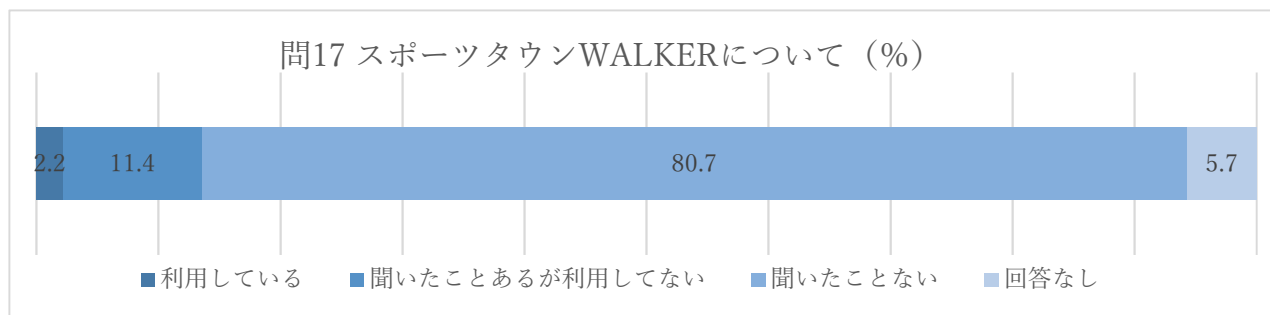
健康づくりやスポーツに取り組む日(スポーツの日)の啓発については、半数以上の52.8%の人は「どちらでもない」と回答しているが、4割の人が進めるべきと回答しており、「進めない方がいい」と回答した人は4.6%と少数だった。

問14バルシューレのまち養老を目指すことについての設問も同様に、「進めるべき」と「どちらでもない」が同数おり、「進めない方がいい」は少数だった。。

◇バルシューレのまち養老を目指すことについて(問14) 回答件数 34 件(回答者数38人/545人)

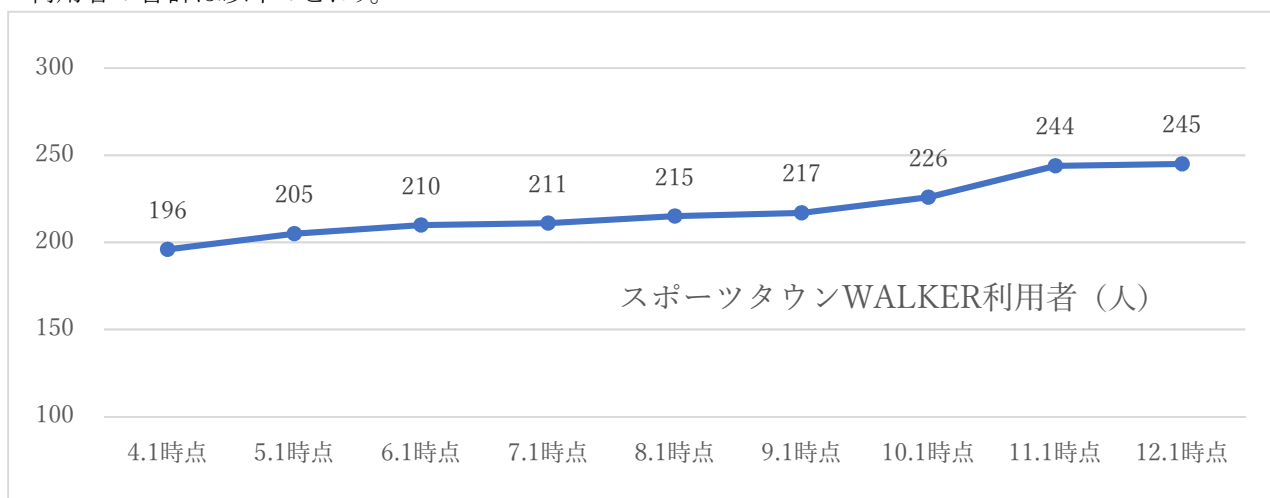


◇スポーツタウン WALKER(問17) 回答者数545人



スポーツタウン WALKER について、知っている人は 13.6% (74 件) に対し、聞いたことない人が 80.7% と知名度が低い。利用者を増やすためにも知名度を上げる必要があると思われる。

利用者の合計は以下のとおり。



※岐阜県「スポーツアプリの利用者数について」(令和5年)より